

●グローバル型(グローバル拠点育成)(平成21年~25年度)

徳島地域

徳島 健康・医療クラスター

URL: <http://cluster-tokushima.net/>

参画機関(太字は核となる研究機関)

産…大塚製薬、KTT貿易、さわか、徳島製麺、
ビーエル、ユネクス ほか
学…**徳島大学**、**徳島文理大学**、
ペンシルバニア大学、天津医科大学 ほか
官…**徳島県立工業技術センター**、
農林水産総合技術支援センター

クラスター構想

これまでに蓄積してきた糖尿病に関する様々な研究成果に立脚し、高い研究ポテンシャルを有する研究開発機関や大手製薬企業を中心とする企業の集積など地域が有する優位性を最大限に活かし、喫緊の地域課題であるとともに世界共通の課題でもある「糖尿病の克服」のため、産学官が連携し先進的な研究開発をグローバルに展開するとともに製品及びサービス両面での事業化に結びつける「世界レベルの糖尿病研究開発臨床拠点」の構築を推進する。

事業成果

徳島地域における研究開発例

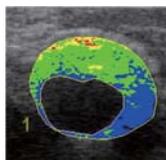
① 糖尿病検査・診断装置の開発



血管内皮検査装置



3次元イムノクロマトチップ

頸動脈プラーク
超音波画像診断ソフト
iPlaque

② 徳島県特産の健康食材を活用した商品等の開発



健康食材活用商品

とくしま!
健康食素材
ロゴマーク

【糖尿病克服に向けた産学官連携によるイノベーション創出基盤の確立】

本事業における5年間の取組により、関係者の意識変革と産学官連携基盤強化が図られ、県内外87社の企業参画のもとグローバルな研究開発が展開されました。

徳島地域においては、事業終了後においても本取組の事業成果をさらに発展させた「とくしま『健幸』イノベーション構想」を打ち立て、引き続き構想実現に向けた世界レベルの取組を実施しています。

① 糖尿病検査・診断装置の開発

「血管内皮機能検査装置」、「3次元イムノクロマトチップ」、「iPlaque」など様々な商品や試作品の開発に成功しました。「血管内皮機能検査装置」については平成22年に薬事法による日本での製造販売承認を受け、事業期間中に12億円以上を売り上げました。また、平成24年には中国において医療機器承認を受け、販売を開始しました。

② 徳島県特産の健康食材を活用した商品等の開発

動物実験において血糖上昇抑制効果が認められたすだち果皮等を利用した健康食品などの地域企業による事業化、商品化が行われました。本事業における共同開発商品であることを認証するロゴマークが策定され、関連商品は事業期間中に6億円以上を売り上げました。現在も売上は拡大しており、地域経済へ大きく貢献しています。

製品化実績等

上記成果のほか、医療観光の事業化や地域企業による低エネルギーで満足度の高い食事ガイドラインに沿ったスマートランチの開発などにより事業期間中の事業化等実績は33件に上りました。またこれらの成果の事業期間内の売上累計は約19億3千万円に上りました。

今後の市場規模(見込み)等

本事業の成果に係る今後の市場規模については、事業終了後の平成26年度から5年間累計で医療機器関連分野で約22億1千万円、食品関連分野で約13億3千万円、その他全体で約41億円を見込んでいます。